

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

乱視症例に白内障手術でのトーリック IOL の有効性：非トーリック IOL との比較検討			
1. 研究の対象および研究対象期間 2024年4月から2026年3月の間に、昭和医科大学病院附属東病院において白内障手術を受け、アルコン社製の眼内レンズ（クラレオン T0 または クラレオン T2）を挿入された患者さんのうち、術前に軽度の乱視が認められた方。			
2. 研究目的・方法 術前角膜乱視が軽度の患者さんに対し、低度数トーリック眼内レンズを使用した群と、非トーリック使用群の術後成績を診療録を用いて比較し、臨床的妥当性を客観的数値で、明らかにします。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで。			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 基本情報：年齢、性別、手術日、執刀医、手術方法（切開部位）、病名 術前データ：屈折度数、手術前の視力、レンズ度数の計算データ 術後データ：術後1ヶ月時点の視力、術後屈折度数			
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。			
6. 研究組織 研究責任者 昭和医科大学附属東病院 助教（医科） 鈴木開			

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部眼科学講座

氏名：鈴木開

住所：東京都品川区西中延 2-1-16

電話番号： 03-3784-8553